

氏名： 小坂 圭太 (KOSAKA Keita)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 准教授
学位： 音楽修士 (1987、東京芸術大学)
専門分野： ピアノ演奏学
E-mail： kosaka.keita@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

ピアノリズムの発展／日本の近代化とその中に西洋音楽の占める位置

◆主要業績

- ・豊田喜代美ソプラノリサイタル (2008.5.17 東京文化会館小ホール)
曲目：ワーグナー ヴェーゼンドンク歌曲集
貴志康一歌曲集・竹取物語 (ヴァイオリン：西沢和江)
- ・丸山泰雄チェロ・ライヴ 2008 (2008, 6, 11、仙台、6, 28, 東京)
曲目：ベートーヴェン チェロソナタ全5曲
- ・ハクジュホール・フルートライヴ 2 (2009, 3, 26) ピアノ担当
主催：ハクジュホール
共演：工藤重典、藤田真頼、秋山君彦、瀬尾和紀、高木綾子
- ・第一生命ホール 育児支援コンサート (2009, 3, 29) ピアノパート担当
主催：NPO 法人トリトンスクエアネットワーク
共演：クワルテット・エクセルシオ、古部賢一 (オーボエ)

◆研究内容 / Research Pursuits

今年度も各方面より依頼の演奏活動を行う傍ら、20世紀のピアノ作品研究、及び初期ロマン派 (1830 年前後) ピアノ作品に見られるピアノリズムの革新について研究を行なった。

◆教育内容 ／ Educational Pursuits

- ・昨年度に引き続き、ピアノ練習曲の歴史についての演習を行った。今年度は 1830 年前後のピアノニズムの一大変換期の作品に焦点を当て、何が真に革命的で何が従来から行われてきた試みの継承といえるのかを検証した。
- ・もう一つのゼミ形式の授業では、作曲家別徹底研究としてドビュッシーを取りあげた。
- ・いずれの授業、また通常の個人実技レッスンに於いても、歴史的事実とアクチュアリティの関連を個々人の学生が意識できるような問題設定を常に教員の側から提起できるよう目指した。

◆研究計画

- ・前述の諸テーマの継続・展開
- ・今後ますますフラット化（客観化・相対化）してゆくであろう学問と、あくまでも西洋近代の或る時代の思考と美意識の反映を引きずるピアノという楽器によって身体感覚として擦り込まれた真実との、矛盾や齟齬を縫い合わせる試み
- ・日本のピアノ作品の系譜
- ・J.S. バッハ以前の鍵盤作品とその受容史